

ふるさと探訪並木名園名木保存事業

宗福寺庭園など12件を指定

市では二月十九日、大館の名園、名木として十二件を指定しました。この指定は、残っている、または今はぐくまれている名園、名木などを保護育成し、良好な環境を次代へ保存継承しようというためのものです。

大館は、戊辰の戦火や度重なる大火で、歴史的な建造物や名園、名木の多くを失っています。そこで市では、現存する地域の名園、名木などを発掘し保存しようという「ふるさと探訪並木名園名木保存事業」を、昨年度

スタートさせました。

昨年三月、この事業の審議会委員に九人を委嘱。五月に、市民の皆さんへ地域の名園・名木などを募集したところ、四十一件が寄せられました。この中から、審議会では十七件の指定候補を選び、現地調査などを進めてきました。そして去る二月五日、七回目の審議会を開催し、最終的に十二件を認定。これを受けて市では二月十九日に、認定された十二件全てを指定したものです。

名園、名木に指定された十二件は次のとおりです。

〈名園〉

▽鳥潟会館庭園

- 所在 花岡町字根井下
- 所有者 大館市
- 所在 有浦4丁目

▽宗福寺庭園

- 所在 豊町
- 所有者 宗福寺
- 庭園樹の種類が豊富で、樹齢も一般に高いものが多く、雄大な趣があります。

▽温泉寺庭園

- 所在 二井田字贅ノ里
- 所有者 温泉寺
- 各種各様の庭園樹があつて変化に富み、広々とした田んぼや田代岳を借景とした眺めの良い庭園です。

▽高橋家庭園

- 所在 字谷地町
- 所有者 高橋 禎一氏
- 庭園樹の樹齢が一般に高く庭石も苔に覆われて古雅の趣があります。

〈名木〉

▽浄心寺の枝垂桜

- 所在 字大館
- 所有者 浄心寺
- 推定樹齢約四百年。このような桜の老樹は非常に珍しく貴重です。

▽有浦観音堂の銀杏

- 所在 有浦4丁目

○所有者 大館神明社

- 推定樹齢約三百年、樹高約二〇m、胸高周囲四・二三m、ずっしりした姿で、樹勢はすこぶる盛んです。

▽信正寺の銀杏

- 所在 花岡町字七ッ館
- 所有者 信正寺
- 推定樹齢約五百年、樹高約二五m、胸高周囲一〇・七mで、堂々たる偉容を誇っています。

▽大國主神社の杉

- 所在 花岡町字繫沢
- 所有者 繫沢部落
- 鳥居から社殿に至る石段の両側に八本の老杉が並んでいます。中でも鳥居に最も近い木は、推定樹齢約四百年、樹高約三〇m、胸高周囲約五mの大木で、神木と称するにふさわしい風格を備えています。

▽老天神社の松

- 所在 葛原字下ノ沢上
- 所有者 葛原部落
- 推定樹齢約三百年、樹高約一六m、胸高周囲三・六mで、古色蒼然としています。

▽別所大日神社の

三本マツカの杉

- 所在 十二所字堂ヶ下
- 所有者 別所部落
- 推定樹齢約四百年、樹高約二〇m。根元から少し上の個所から、三本に分岐するといふ珍しい姿をしています。

▽吉成家の樅

- 所在 十二所字上城
- 所有者 吉成 尚親氏
- 推定樹齢約三百五十年、樹高約二〇m、胸高周囲約四m、周囲の樹木に比してひときわ高く立つ姿は、まさに地域の象徴的存在です。

▽和田家の樅、黒松

- 所在 小袴字小袴
- 所有者 和田 晋一氏
- (樅) 推定樹齢約三百年。樹高約五m、周囲約二四mで、頭頂部が大きな円筒形に仕立てられています。
- (黒松) 明治初期に植栽されたもので、樹高約一五m、胸高周囲約二・五mの大木です。
- 四月から毎月十六日号広報にシリーズで、名園、名木に指定された十二件を詳しくご紹介します。



鳥潟会館



和田家の樅